

来賓室のフロアにある馬券購入窓口。各来賓室には、レースを予想するために、競馬新聞や投票カード、そして鉛筆が用意されている。



↑来賓室備え付けのメニュー。ケータリングは1階下のホテルオークラレストランから。→特別貴賓室からの競走場の眺望。



●プラチナ・マネジャー
高岡壮一郎

Soichiro Takaoka 東京大学卒業後、三井物産を経て、アブラハム・グループ・ホールディングス株式会社を創業。現在、同社代表取締役社長。



●学習美女
三浦奈保子

Naoko Miura 1987年生まれ。東京大学文学部Ⅲ類在学中。趣味：読書、語学学習。現在、フジテレビ系『熱血！平成教育学院』準レギュラー。



東京競馬場案内

中央競馬が開催される全国10か所のうち、最大規模の競馬場。日本ダービーや天皇賞(秋)が行われる。07年にグランドオープンした「フジビュースタンド」にも、来賓フロアや、馬主フロアがある。
[DATA]東京都府中市日吉町1-1 ☎042・363・3141



「第1扉」東京競馬場特別貴賓室

Team 赤門「学習美女・三浦奈保子」×プラチナ・マネジャー「高岡壮一郎」が開かない扉の向こうへ
「選ばれた方のみ、ご入場いただけます」

Knockin' on the Exclusive door

ましているこのお部屋は、まさに、その伝統を受け継いでいる日本では貴重な場所、というわけですね？

工藤 そうお考え下さると光栄です。高岡 他の来賓室については、どんな方が利用されているのですか？

工藤 本会がご招待する各界を代表する方々や、レースに協賛している企業の方々などです。先日、東京競馬場で「共同通信杯」がありました。その日は共同通信社の関係者がお見えになりました。

高岡 それ以外の、例えば一般人は、利用はできないのですか？

工藤 残念ながら、原則「招待」という形を採っており、一般のお申し込みは受け付けておりません。ただし、富裕層誘致策として百貨店やカード会社、ホテル等とコラボレーションを展開しており、各位がイベントの形として、ご自身の会員をご招待しているケースがあります。

高岡 それは、来賓室での競馬観戦が、百貨店やカード会社のキラーコンテンツになっているのでしょうか。制限された場所であるほど、コンテンツとしての魅力も高まります。

三浦 競馬にまったく興味もなかったんですけど、ここなら観たいです。

工藤 本日は、レースが開催されていないので静かですが、開催中の場内は数万人の来場者ですごく熱気ですよ。ただし、それは日本の競馬場独特のものなのですが。

高岡 と、いいますと？

工藤 スタンドを大観衆が埋めつくす光景は、テレビなどでご存じだと思いますが、そんな光景は欧米の競馬場ではごく限られたレースのみで、それ以外の日は静かです。欧米では、普段の来場者のほとんどは出走馬関係者で、一般ファンは市中の窓口で馬券を購入するので競馬場には来ません。一方、馬の血統を勉強し、毎週提供される調教のデータ等からレースのストーリーを予想し競馬場に足を運んで、馬と騎手に声援を送るのは日本のファンの特徴といえます。

三浦 そうなんですか！

工藤 日本独自の競馬システムにより、多くの情報提供が可能なためファンを持つ日本の競馬を羨ましがります。海外のトップジョッキーが日本で騎乗すると、自分たちがスタ一扱いされることに感激しています。

高岡 ゲームやアニメといったオタク文化を作り、世界を席巻している国民だけのことはありますね(笑)。

売上げはどのくらいあるのですか？

工藤 売得金ベースで07年は2兆7591億円。世界でトップです。

高岡 すごい金額ですね！ ネット業界全体の約6倍でしょうか。富裕層ビジネスとしても、馬主が注目されているのですが、馬主になるために条件はありますか？

工藤 条件の一つに、納税額が過去2年間いずれも1800万円以上で資産9000万円以上があります。

高岡 ハードルが高いですね！

工藤 かなり厳しいです。

三浦・高岡 いつの日か馬主に(笑)。どうもありがとうございました。